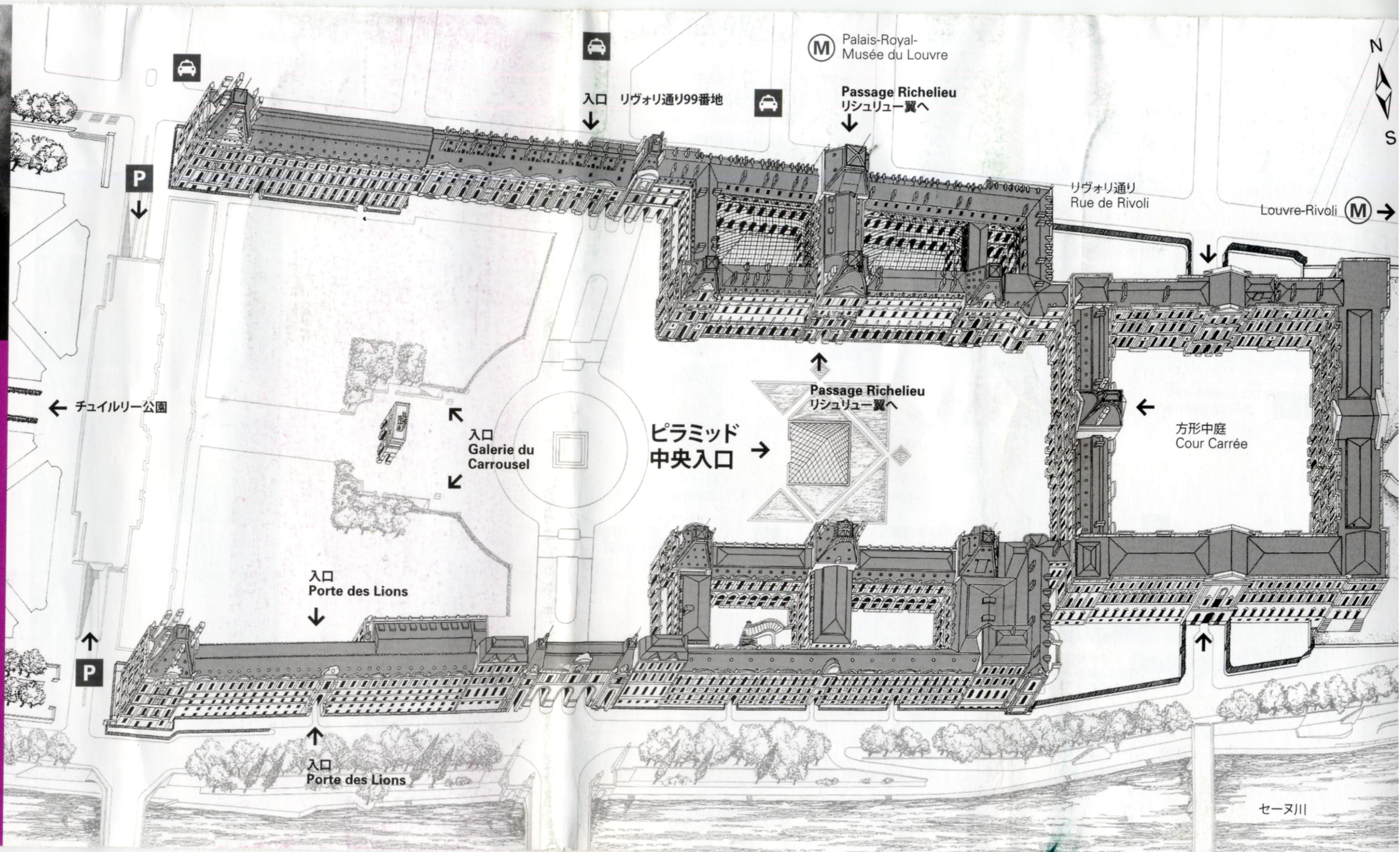


見取り図と館内のご案内

日本語版

LOUVRE



2

3階 2^e étage

- フランス絵画
- グラフィックアート、フランスの作家による素描
- ドイツ・フランドル・オランダ絵画
- ドイツ・フランドル・オランダ・ベルギー・ロシア・スイス・スカンジナビア絵画
- 特別展示室



A
レースを編む女
(J. フェルメール)



B
自画像
(A. デューラー)



C
ガブリエル・デストレとその姉妹ビヤール公爵夫人とみなされる肖像画



D
宰相ロランの聖母,
(J. ファン・エイク)



E
いかさま師
(G. ド・ラ・トゥール)



F
トルコの浴場
(J.A.D. アンゲル)

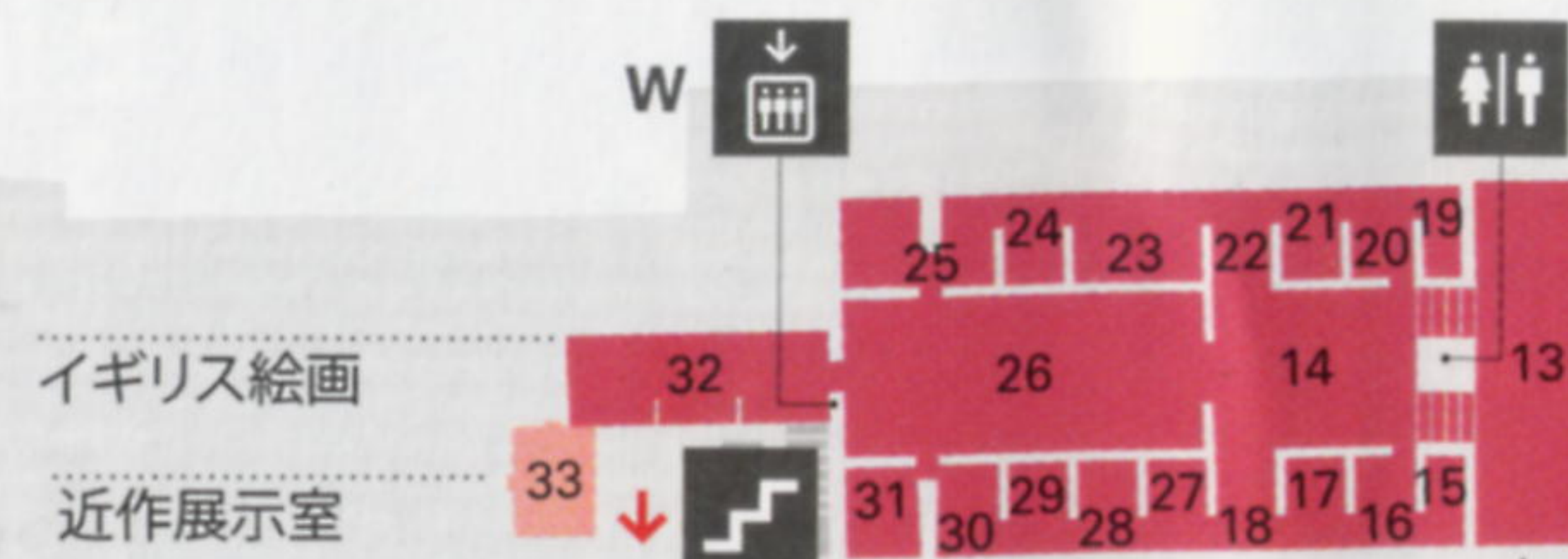
オランダ派 17世紀 ドイツ派 18~19世紀 フランドル派 17世紀 オランダ派 16世紀 ドイツ派 15~16世紀



1

2階
1^{er} étage

- 工芸品部
- 古代エジプト美術部
- 古代ギリシャ・エトルリア・ローマ美術部
- 絵画部
- グラフィックアート部
- 特別展示室

A
ナポレオン三世の居室B
書記《座像》C
サモトラケのニケD
ナポレオン一世の戴冠式
(J. L. ダヴィッド)E
モナリザ
(L. ダ・ビンチ)F
カナの婚宴
(ヴェロネーゼ)

イギリス絵画

近作展示室

プリミティブ
アートへ

スペイン絵画

17~18世紀の
イタリア絵画16~17世紀の
イタリア絵画13~15世紀の
イタリア絵画アポロンの
ギャラリー

7月王政 王政復古 19世紀 ルネッサンス 17世紀

ナポレオン三世
の居室

中世

Richelieu
リシュリュー翼ドゥノン翼
Denon19世紀フランス絵画
の大作

企画展示室ラ・シャペル

ブロンズおよび貴金属工芸

シュリー翼
Sully美術工芸品
17~18世紀

閉鎖中

ファラオ時代のエジプト、
時代順鑑賞コース

土器

古典期以前の
ギリシャ美術ギリシャ時代の
陶器

閉鎖中

0

1階 Rez-de-Chaussée

- 彫刻部
- 古代オリエント美術部
- 古代エジプト美術部
- 古代ギリシャ・エトルリア・ローマ美術部
- アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ美術部



ハムラビ法典



ラムセス二世座像



アフロディテ
(ミロのビーナス)



エロスの接吻で目覚める
プシュケ (A. カノーヴァ)

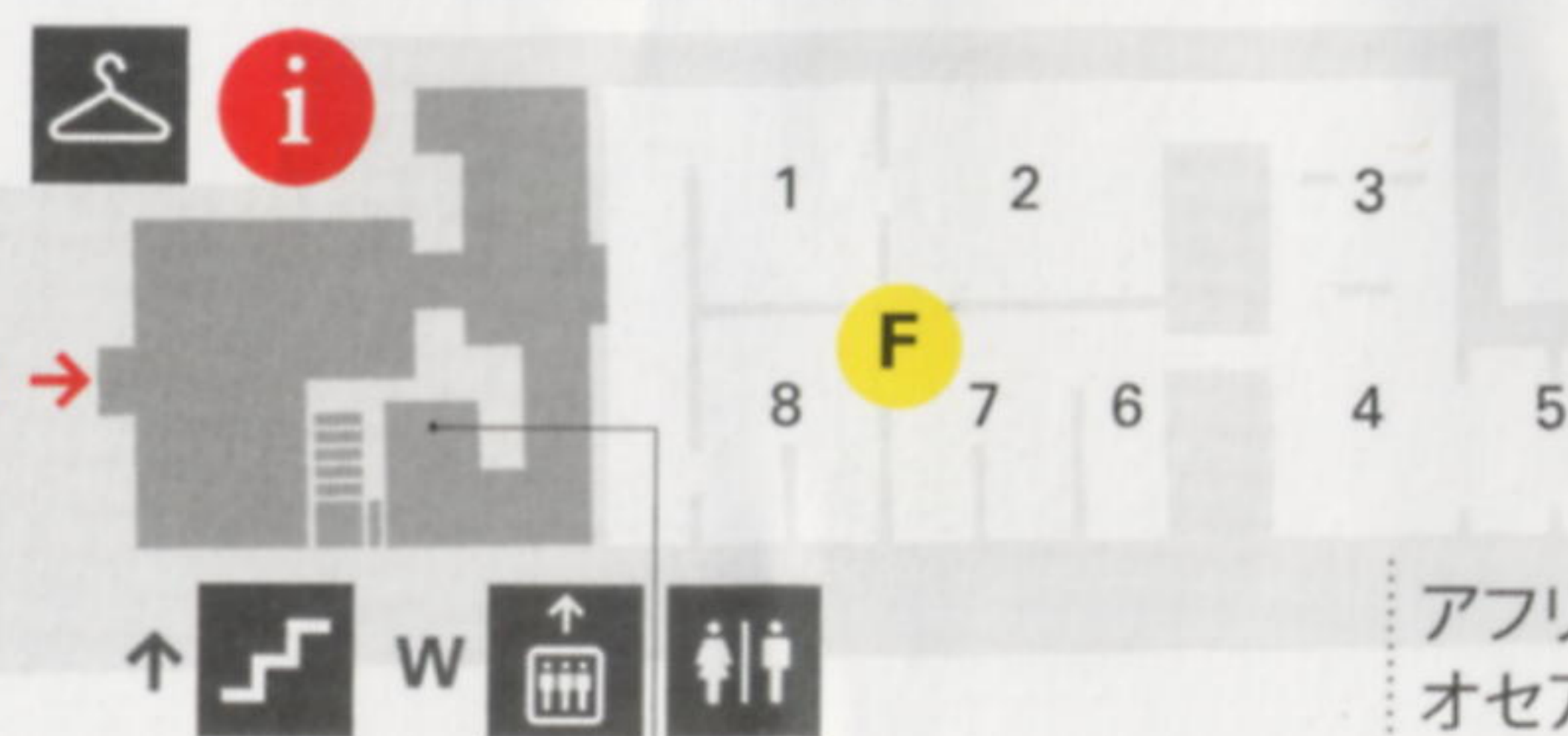


囚われの身／瀕死の奴隷
(ミケランジェロ)



チュピカロの彫刻
(メキシコ)

Porte des Lions 入口 →



アフリカ・アジア・
オセアニア・
アメリカ美術部



- イスラム美術
- 彫刻部
- 古代エジプト美術部
- 古代ギリシャ・エトルリア・ローマ美術部
- ルーヴル宮の歴史
- 中世のルーヴル
- 特別展示室



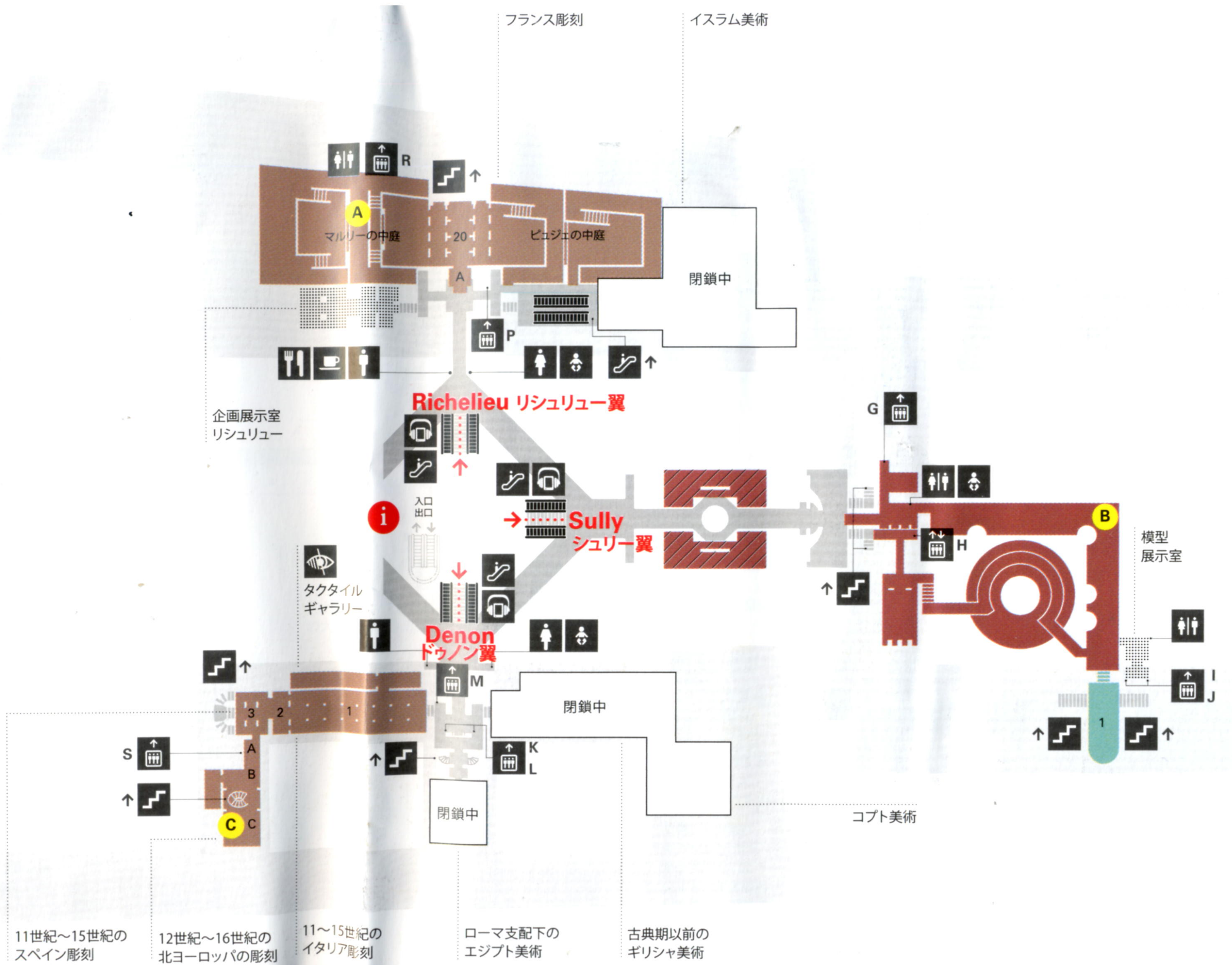
マルリーの馬
(G. クストー)



中世ルーヴルの壕



マグダレナの MARIA
(G. エルハルト)





ピラミッド下 (ナポレオン・ホール)



メトロ：
Palais-Royal /
musée du Louvre.

ショッピング・
アーケードへの
アクセス

ドゥノン翼

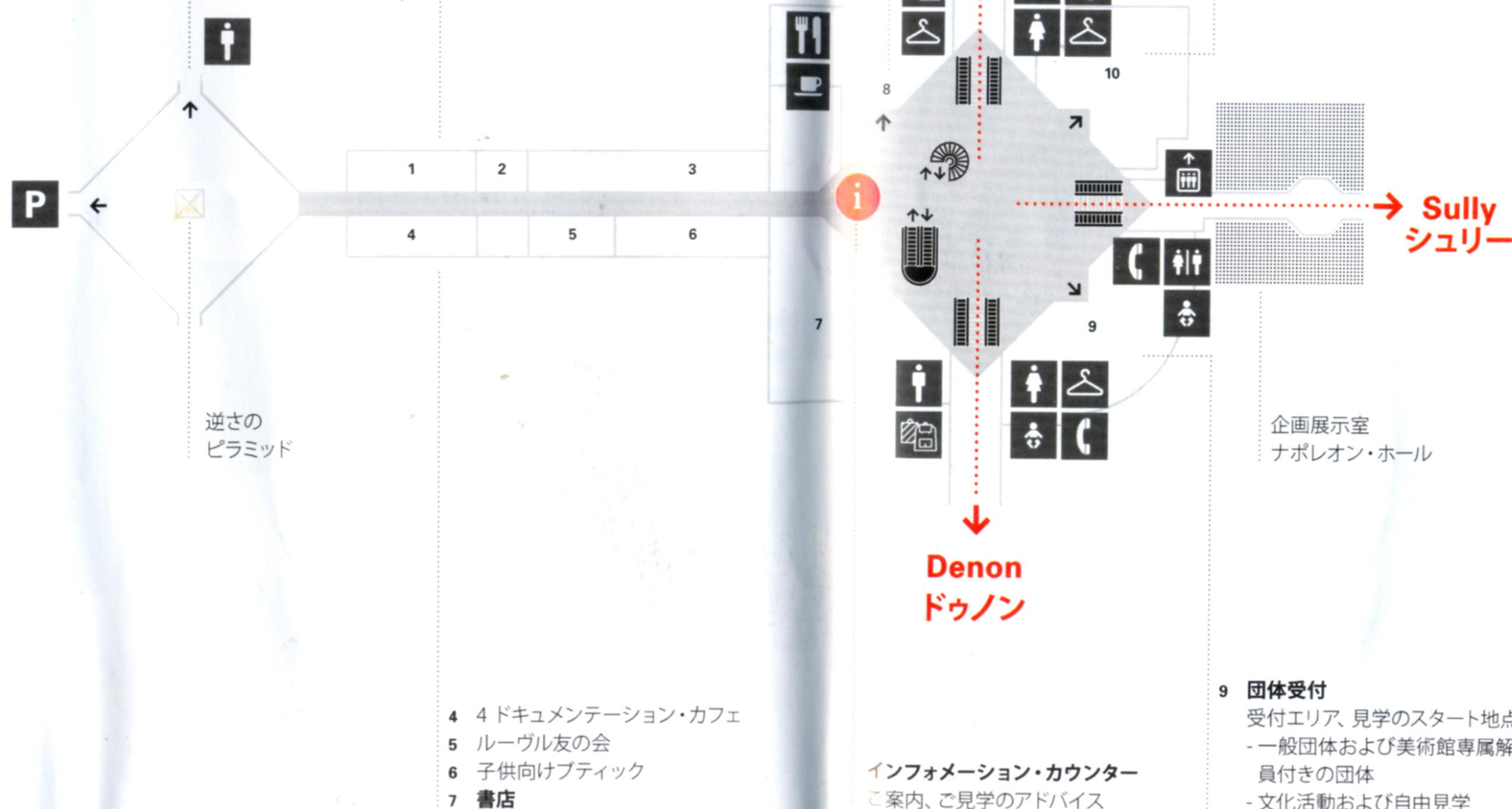
- イタリア・スペイン絵画
- 19世紀フランス絵画
- イギリス絵画
- アポロン・ギャラリー、王冠のダイヤモンド
- イタリア・スペイン・北ヨーロッパ彫刻
- ギリシャ・エトルリア・ローマ美術
- ローマ支配下のエジプト美術・コプト美術
- アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ美術

リシュリュー翼

- 14～17世紀 フランス絵画
- ドイツ・フランドル・オランダ・北方絵画
- 中世、ルネッサンス、17・19世紀 美術工芸品
- ナポレオン三世の居室
- フランス彫刻
- メソポタミア・古代イラン美術
- イスラム美術

シュリー翼

- 17～19世紀 フランス絵画
- 17～19世紀 素描・パステル画
- 17～18世紀 美術工芸品
- ギリシャ・エトルリア・ローマ美術
- ファラオ治世下のエジプト美術
- 古代イラン・アラビア・東方美術
- ルーヴルの歴史、中世のルーヴル



- 1 加入受付センター
- 2 郵便局
- 3 スーベニア・ショップ

- 8 オーディオビジュアル・ルーム
ルーヴル美術館についての映像
プログラムは入口に掲示
無料

- 10 オーディトリウム (420席)
考古学、美術史、文学、映画、
音楽などの分野で、講演会、
朗読会、映像鑑賞会、コンサート、
青少年向けパフォーマンスなど、
毎シーズン300にのぼるイベントを
開催しています。

お問い合わせ：Tel. 01 40 20 55
55 / louvre.fr
ご予約：01 40 20 55 00.

Richelieu
リシュリュー

Sully
シュリー

Denon
ドゥノン

- 4 4 ドキュメンテーション・カフェ
- 5 ルーヴル友の会
- 6 子供向けブティック
- 7 書店

インフォメーション・カウンター
ご案内、ご見学のアドバイス

- 9 団体受付
受付エリア、見学のスタート地点：
- 一般団体および美術館専属解説
員付きの団体
- 文化活動および自由見学



受付エリア(ナポレオン・ホール)

見取り図と館内のご案内は、内容が変更される場合があります。
グラフィックデザイン：Atelier Takavoir / B. Pell / ルーヴル美術館 -
アートカウンセリング：P. Bernard - 表紙デザイン：G. Nicot (Domaine national du
Louvre et des Tuileries主任建築家兼学芸員) - コーディネーター：A. Giroux
(ルーヴル美術館) - 写真提供：D.R. / ルーヴル美術館 -
印刷：Technigraphic. (11/2010)

(Japonais)

コレクション

古代オリエント美術部

この部門は紀元前7000年にまで遡る中近東の古代文明を紹介するものです。古代オリエントでは、メソポタミア、イラン、さらに地中海沿岸地方からインドまでを含む『東方』と呼び習わされている広大な地域に次々と文明が生まれました。

古代エジプト美術部

この部門は、ジャン・フランソワ＝シャンポリオンが創設したもので、古代エジプトの美術を紹介します。鑑賞には二つのコースがあり、一つは、その起源からクレオパトラの治世までを時代順にたどるもの、もう一つは、エジプト文明の個々の様相をテーマ毎に詳しく見ていくものです。本来のエジプト美術の他、キリスト教伝来後（コプト美術）やローマ支配下のエジプト美術を代表する作品が加わって、エジプト美術の体系を完璧なものにしています。

古代ギリシャ・エトルリア・ローマ美術部

この部門は、ギリシャ、エトルリア、ローマのヨーロッパの三大古代文明が生んだ美術工芸品を集めています。1階の展示室には、紀元前2000年代から紀元6世紀頃までに制作された大理石の作品が年代を追って展示してあります。2階の展示室では、製作技術・材料別に分けて作品が展示してあります。青銅、宝飾品、銀器、ガラス工芸品、人形類、焼き物の壺などです。

ルーヴル宮の歴史と中世の城砦

展示室2室と遺跡見学コースにより、ルーヴル宮の歴史をご紹介します。

絵画部

絵画部には、13世紀から19世紀の半ばにかけて、ヨーロッパ絵画の歴史を作った作品が集められています。フランス絵画を主に、イタリア絵画、スペイン絵画、北方絵画（ドイツ派、フランドル派、オランダ派）の名作をご鑑賞ください。「モナ・リザ」の展示室は、日本テレビからの援助により改修されました。

彫刻部

彫刻部には、中世初期から19世紀の半ばまでの間に、ヨーロッパで制作された作品が集められています。フランスの彫刻家の作品が主ですが、イタリア、スペイン、北ヨーロッパからも代表作が寄せられています。

工芸品

この部門には、あらゆる時代に制作された工芸品が集められています。中世やルネッサンス時代の作品、17世紀・18世紀の装飾美術、王冠のダイヤモンド、19世紀の工芸品や家具、ナポレオン三世の居室などです。

18世紀工芸品の展示室は大規模な改装のため2011年まで閉鎖中です。改装工事はHigh Museum of Art およびそのメセナ企業—Anne Cox Chambers夫人、Accenture、UPS、Turner Broadcasting System Inc.、The Coca-Cola Company、Delta Air Lines、AXA Art Insurance Corporation、The Sara Giles Moore Foundation、さらにクレッサン・サークルとAmerican Friends of the Louvreの援助を受けています。

グラフィックアート部

グラフィックアート部は、デッサン分室の10万点に及ぶ作品や、エドモン・ド・ロッチルドのコレクション、手書き装飾文字の版木を収集していますが、閲覧は予約制になっています。他に例を見ない豊富なコレクションですが、破損しやすいため、期間を限った臨時展示、あるいは、常設展示室において順繰りに少しずつ展示するというシステムで一般公開されています。

グラフィックアート部閲覧室

問い合わせ先：Tel. 01 40 20 52 51.

イスラム美術分科

こちらでは、イスラム世界を構成していた地中海沿岸国、イラン、中央アジアおよびインドからの展示品をご覧いただけます。フランス王室のコレクションも含まれます。主に7世紀から19世紀の陶器、金属製・象牙・木製の品々、絨毯、絵画などです。

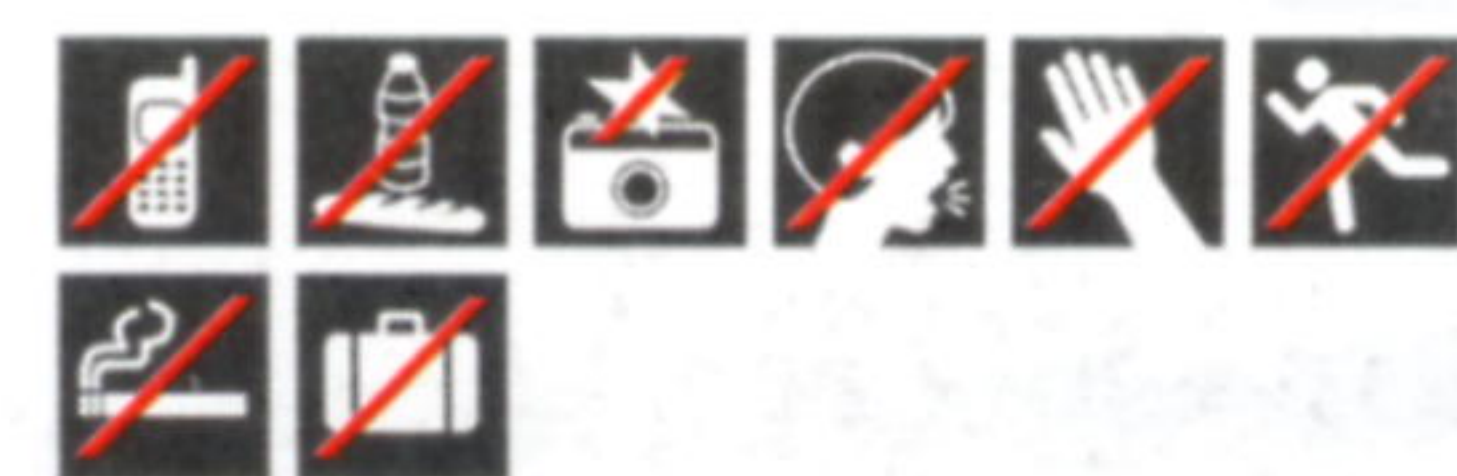
イスラム美術部門の展示室は閉鎖されています。2012年にコレクションの新しい展示スペースがヴィスコンティの中庭にオープンします。

アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ美術部

2000年4月よりルーヴル美術館で紹介されているこれらの作品群は、現在ではケ・ブランリー美術館のコレクションの一部となっています。

コレクションの詳細についてはウェブサイト www.louvre.fr をご覧下さい。

美術館見学規約



ルーヴル美術館では、快適な見学をしていただきつつ、作品の保護に努めるべく、基本的なルールを改めて意識し、守っていただけるよう、来館者の皆様をお願いしています。

ご見学中に見かけられるこれらのパネルは、美術館見学に際して守るべき6つのルールを表しています。このルールの遵守は、芸術遺産の保全とすべての来館者への快適な見学の提供につながります。

常設展示場での写真、ビデオ撮影は可能です。ただし、フラッシュ、その他の照明器具の使用は禁じられています。

企画展示場での写真、ビデオ撮影は禁じられています。

携帯電話の使用、喫煙、飲食は禁止されています。また、大きな声で話したり、作品に触ったり、館内を走ったりなさらないよう、ご注意ください。



住所と来館の仕方

住所

Musée du Louvre,
75058 Paris Cedex 01.
Tél.: 01 40 20 50 50.

アクセス

- 主要入口はピラミッド下。
- その他の入口は、Porte des Lions（アフリカ・アジア・オセアニア・アメリカ美術部へ直接アクセス）、Galerie du Carrousel (99, rue de Rivoli、もしくはles jardins du Carrousel)、さらにPassage Richelieu (団体、チケットをお持ちの方、またはオーディトリウムへお越しの方専用)。

- メトロ：Palais-Royal - Musée du Louvre 駅 (1番または7番線)。
- 地下駐車場：毎日7時～23時、avenue du Général-Lemonnier、Tel.: 01 42 44 16 32
- タクシー乗り場：place du Palais-Royal
- バス：21, 24, 27, 39, 48, 68, 69, 72, 81, 95番線
- バトーピュス (Batobus)
- ヴェリブ：ステーション1013～1015、1023～1025

美術館の開館時間

開館日は、火曜日と特定の祭日を除く毎日。
- ピラミッド下の受付広場：9時～22時 (火曜日を除く)
- Porte des Lions入口：9時～17時30分 (火曜日と金曜日を除く)

常設展

9時～18時。水曜日と金曜日は夜間開館日につき、22時まで開館。閉館開始時間は17時30分、水曜日と金曜日は21時30分。祝祭日は、夜間開館は行なっておりません。

展示室オープンスケジュール

各展示室の開室・閉鎖日が記載された週間スケジュール表がございます。
お問い合わせはピラミッド下の入口、インフォメーション・カウンター、もしくはウェブサイトwww.louvre.frまで。

企画展

- ピラミッド下 (ナポレオン・ホール)：9時～18時、水曜日と金曜日は22時まで。別途料金が必要です。
- 美術館の常設展示室で催されるもの：美術館の通常開館時間に準じます。



インフォメーション・カウンター

ピラミッド下および porte des Lions.
Tél.: 01 40 20 53 17.



障害をお持ちの方のために

お問い合わせ：
- Tél.: 01 40 20 59 90.
- handicap@louvre.fr

移動が困難な方へ

車椅子やベビーカーの無料貸し出し
お問い合わせ：
Tél.: 01 40 20 53 17.

団体での見学

7名以上の団体でのご来館の場合には予約が必要です。
お問い合わせ先：
- Tél.: 01 40 20 57 60 (自由見学の場合)
- Tél.: 01 40 20 51 77 (美術館専属解説員をご希望の場合)

入館料

チケット

チケットは常設展・企画展共通で、当日に限り一日有効です。ただしナポレオン・ホールは除きます。当日に限りドラクロワ美術館にも有効です。
チケットの販売終了時間は17時15分 (Porte des Lionsは17時)、水・金曜日は21時15分です。

一般料金：9.50ユーロ

割引料金：6ユーロ (夜間開館日の18時以降)

ナポレオン・ホール企画展：11ユーロ

共通鑑賞券：14ユーロ (常設展+ナポレオン・ホール企画展)、割引料金12ユーロ

入館無料：18歳未満、失業者、障害をお持ちの方およびその付き添いの方 (証明書を提示ください)。ナポレオン・ホール企画展を除き、26歳未満の欧州経済領域(EEZ)在住者、現職の教員 (有効期限内の「エデュケーション・パス」をご提示ください)。毎月第一日曜日は全ての方が無料となります。

その他無料観覧についてのお問い合わせ先：
Tel.: 01 40 20 53 17.

前売券

前売券をお持ちの方は並ばずにご入館いただけます。有効期限はございません。
ご購入：
- www.louvre.fr
- Tel. 0 892 684 694 (0.34ユーロ/分) または+33 (0) 1 41 57 32 28
- フランス国内の次のお店にて：Auchan, Bon Marché, Carrefour, Cora, Cultura, Fnac, Galeries Lafayette, Leclerc, Printemps Haussmann, Virgin...
20枚以上の前売券ご購入先
(ツアーオペレーター、協会、組合などに限る)
- Musée & Compagnie,
Tél.: 33 (0)1 40 13 49 13.
- museecie@rmn.fr

マルチメディア・ガイド：6ユーロ、割引料金4ユーロ (フランス社会最低手当 (minima sociaux) 受給者、求職中の方、障害をお持ちの方)、18歳未満の方は2ユーロ

国立ウジェーヌ・ドラクロワ美術館

6, rue de Furstenberg, 75006 Paris.
毎日9時30分～17時 (火曜日を除く)。
お問い合わせ：01 44 41 86 50.

ルーヴル友の会

Tél.: 01 40 20 53 34.

加入受付カウンター

Allée du Grand-LouvreのEspace d'adhésionへどうぞ。
受付時間は9時～17時15分、夜間開館日は21時まで。
Tél.: 01 40 20 51 04.
加入受付パス：
- ルーヴル青少年パス
- ルーヴル・プロフェッショナル・パス
- カルト・パリ・ミュージアム・パス

カルト・パリ・ミュージアム・パス

パリ周辺の60の美術館、博物館、歴史的建造物に入場できるもので、有効期間により2日券、4日券、6日券の三種類があります。
料金：32ユーロ、48ユーロ、または64ユーロ。

文化関係案内およびサービス



無料施設・備品

クローク、手荷物一時預かり所、医務室、ベビーカー、遺失物保管所などを無料でご利用いただけます。

見学用の無料パンフレット

様々な見学コースを掲載した小冊子や「館内のご案内」パンフレットなどをインフォメーション・カウンターにご用意しています。

ルーヴルでの文化活動

ルーヴル発見コースは仏語と英語のみ。解説員付き見学、アトリエでのワークショップ：個人または団体、子供向け、大人向けあり (ただし日曜日午後、毎月第一日曜日、祝祭日を除く)。ご予約は団体受付まで。

書店、売店、版画工房

ガイドブック、カタログ、レプリカなど。ピラミッド下の広場、およびAllée du Grand-Louvreでお求めいただけます。



マルチメディア・ガイド

見たい作品、見学したいコースを選択することができます (仏語、英語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、フランスの手話法)。貸し出しはドゥノン翼、シュリー翼、リシュリュエ翼の入口にて。



レストラン、カフェ

- カフェ/レストラン
- カフェ/サロン・ド・テ
- カフェテリア
- サンドイッチ、テイクアウト

チュイルリー公園

Tél.: 01 40 20 90 43.
- チュイルリー公園の解説付き見学：4～10月の毎週土曜日および日曜日の午後、無料の見学コース (仏語のみ、15時30分出発、約1時間15分)
- 野外でのイベントや文化活動
- 書店 (コンコルド広場)
- カフェやレストランなど多数